

## (2)中学受験をさせた母親への インタビュー調査

### <調査の目的>

中学受験をさせた母親5名に、中学受験をさせようと思った動機から、受験の取りくみの様子などについてグループインタビューをした。尚、この調査はアンケート調査を実施する前のプレ調査として実施した。

### <調査の時期>

1988年6月20日

### <対象>

Aさん（45歳） 高2女子、中1女子の母親

Bさん（47歳） 高1男子、中1男子の母親

Cさん（43歳） 高1女子、中1男子の母親

Dさん（41歳） 中3男子、中2男子、小3女子の母親

Eさん（37歳） 中2男子、小4女子の母親

### 中学受験志向の動機

司会 近年、小学校から私立の中学校を受験される方が増えています。そこで、今日は中学受験を経験されたお子さんや、これから受験させたいお子さんを持つ、都内在住のお母様方にお集まりいただき、お話を伺いたいと思います。まず、中学受験の動機からお聞かせいただきたいのですが。

- A 私自身が私立学校の出身で、卒業後もそこに勤めていました。それで、その学校の先生方のお考えや学校の教育方針を以前から肌で感じていたんですね。子どもは女の子二人で今高校生と中学生なんですが、ここにお任せすれば、将来いい影響を与えてくれるのではないかと思ったのです。
- B 私のところは男の子二人ですが、長男のときはさほど私立に執着していませんでした。ある特定の私学に入れなければ、近所の中学校でいいと思っていました。学校選びは初めてで、親のほうも中学校の中身はよく分からなかったものですから、ブランドで選んで受けさせてしまったという気がします。

結局、長男は受験に失敗して近所の公立にいったのですが、その中学校に一緒に行つたお友だちは、みな高校受験のために塾に通い始めていたんですね。公立では、三年間塾通いをしないとよい高校に入れない、そういう現状があるわけです。三年毎に受験がくるのは大変落ちつかないし、子供は常に勉強においまくられて、スポーツや自分の好きなことがやれない。男の子が一番体力を発散させたい時期に、常に塾に通うという生活しかできないという現状を、目の当たりにしまして。それで、同じ道を踏ませたのでは可哀相だと思って、次男はランクを下げても私学に入れたいという気持ちになりました。次男は六年間一貫の学校に合格し、そちらに通っています。

- C 私のところは高校一年生の女の子と中学一年生の男の子です。長女は公立小学校から受験して大学まである私立中学校に行きました。その大学は私の母校で、私は大学から入学したのですが、中学校から入学した方たちの創造的な能力をすごく感心していました。それで子供にはぜひ、中学校から大学まで一貫教育を受けさせてやりたいという希望から受験させました。

息子のほうは、公立中学校に通っていますが、本人は私立に行きたがっていました。というのも、五年生のときに大変乱暴な子と同じクラスになって、ひどいじめにあったからです。それで絶対区立中学校に行きたくないと言ったのですが、受験の準備が間に合わなくて……。勉強のほうもその頃から始める程度じゃダメですし、親のほうも忙しくて子供に合う学校に気づくのが遅くて、さてと思ったときはもう、説明会が終わっていました。

- E 私のところは公立中学二年生の男の子と小学四年生の女の子です。とにかく、親が入れたいと思う私立がありまして、第一志望しか行かないと親子で約束して受験しました。レベルを下げたところは合格したのですが、結局長男は公立中学校に入りました。

## 受験対策法と情報源

司会 受験対策の勉強はどうなさっていたのですか。

D うちでは受験コースとして有名なある進学塾に通っていました。最初は、親が家で教材を使って勉強を見ていたのですが、やはり限界がありました。六年生になってからは週に一度家の近くの学習指導会にも通わせていました。

B 長男のときは近所の塾に通いながら、一方でみなさんご存じの某進学塾に毎週日曜日に試験を受けに行く、というパターンを四年生の最後から二年間続けていました。

次男は、有名進学塾に行くのが嫌だというので、大手の塾ではなく少人数でゆっくり勉強する塾に通わせました。

司会 そうした、どの中学校がどのレベルで、入試のためにはどういう勉強が必要かという情報は、どんな情報源から得られるのですか。

A 私は、結局自分の経験から割り出したことがほとんどです。娘は五年生の時から塾に行って二年間勉強して入ったからそれでいいんじゃないかと思っていましたから、同じピアノの先生についていて一年先輩のお子さんを持っている方から、進学塾の試験予定日を教えてもらい、パンフレットまでいただいたんです。

B 塾のシステムで、毎週日曜日に親がついていかなければならぬんです。で、子どもがテストをしている間に、先生が親に対していろいろなお話をしてください。そこで新しい情報が入りました。そのあとは四谷の塾に通うようになって、毎週お知らせがきたりとか次々と色々な情報が入ってきます。

C 私は大学から親友と三人でグループを組んでいるんです。一人は高三の息子と高二の娘、もう一人は中二の息子を持っている人で、大変な私立志向の教育ママゴンで、すごく情報を持っています。例えば、自分の子供は私立に通っているのに千代田区の公立中学校の様子まで教えてくれるような情報通です。そういうことを話題にするのが好きなんですね。この二人から話を聞けば、何でも大体のことはわかります。

司会 自分で本を読んだり、雑誌を読んだりするとかはどうですか。

C 読みます。今は「進学ガイド」という本をとっています。大変気に入っています。あと、週刊誌にそうした記事が載っていると、たった数頁のために一冊買ったりしますけど。

司会 Dさんはいかがですか。

D 私は主人と相談したり、塾の友達と情報交換していました。

司会 今通っている学校の先生に、受験の相談されたりすることは?

E 一切していません。もっとも、子供達は全部オープンにしているようなので、ご存じではいらっしゃると思いますが、受験することに対して特別視はなさっていないという感じがします。

C 学校の先生には、私立中学校の名前すら知らない方が多いですね。それから、合格したのにお祝いの言葉をいただけなかったり、公立じゃないと学校じゃないと思っている先生がいらしたり……。私立に対する知識をあまりお持ちでないので、言っても無駄だなど感

じました。

A 私は子供二人が五、六年生とたまたま同じ先生が担任だったのです。この方は年配の方でしたが、受験に対する理解はおありになりました。が、やはり公立の先生ですから、個人的に指導するということはできません。長い間公立の先生をしていらっしゃるので最近の受験事情には疎いとおっしゃっていました、子供の学校での成績やIQテストの結果は見てくださいましたが、最終的には塾でのテストの結果や塾の先生の意見を頼りにしてました。

司会 学校の授業とか宿題との関係はどうですか。

A 学校での宿題は基本的にはとてもやさしいものしかできません。例えば、漢字の書き取りとか、作業的なもので、しかも授業中に間に合わなかった場合にでることが多いようです。それで、娘などは、ほとんど学校にいるうちに終わらせて、家でやることは週に一度くらいですね。

司会 クラスではどのくらいの人数が受験されるのですか。

A 三十四人のクラスのうち、十人は受験なさるようです。女の子のほうが多いと思いますが、この十人というのは塾に行っていらっしゃる方の数ですが、受験を考えているのはもっと多いと思いますね。

## 教育費について

司会 塾の費用とか、受験にかかる費用は、月にどのくらいかかるものでしょうか。

A 最盛期には算数の家庭教師をお願いしたりして、月6万円位かかりました。お父さんのお小遣いよりよほど多いですね。

C やはり、一人5万円はかかりますね。

B そうですね、でも、公立の中学校に入れて、高校受験のためにかける費用はもっと高いと思いますよ。

司会 中学校で塾に通わせるくらいなら、最初から私立に入れた方が安いわけですね。

A 安いです。うちでは特に月謝が安い私立に入ったので、他に先生についてしなければ本当に安いですね。

B 次男が私立中学校に入って月謝が3万円でしたが、公立中学校に入った長男の1ヶ月の塾費と家庭教師代には8万円かかりました。まあ、私立に行くと定期代がかかりますけどね。

C 定期代も高いですね。1万円くらい。

司会 家庭教師代はどのくらいかかるのですか。

E 家庭教師は普通だと1時間2500円くらい。学生か先生か、レベルで違いますが……。

司会 塾の先生とか、学校の先生に頼まれると?

C そういう方は一回一万円です。

B めちゃくちゃですよ、そういう意味では。実は、今の息子の公立中学校の先生がとても質が揃っていて、意欲的でいいんです。ただ、私立志向のお母さんが集まる会で聞いたところによると、たまたま今年が「当たり年」だっただけ、ということなんですけど。でも、その先生方を見ていると、そんなに必要以上にお金をかけないで、先生方の指導で上がっ

た成績で入れる学校でもいいというような気持ちになりますね。都立のいい学校に、部活動しながら、塾にも行かずコツコツと、というスタイルで行けるならこれは本当に理想だと思えるんですけどね。

## 父親の意見と協力

E うちは小学校受験に関しては、主人とは意見が異なっていました。私自身はずっと幼稚園から大学卒業するまで私立しか行ったことがないので、公立の学校について分からなくて、だから当然、男の子でも小学校から私立にいれてしまいたい気持ちだったんです。

でも、主人が言うには社会で色々な方を見ていると、小学校から大学まで私立で一つの学校をずっと通った方々の物の見方が割と狭いというか、外の社会を知らないという状況が見られることが多いというんですね。小学校のときには色々な人の生活状況とか、考え方とかを経験させなくては、という意見で、子供は二人とも公立小学校へ行きました。

結果的には、色々な友達ができましたし、小さいときには近所の友達と外で遊べるというメリットは大きかったと思います。

A うちでは、女の子ということもあってか、主人は子供の教育にはほとんど動かないんですね。ほとんど私に任せられているという状況です。ただ、私立小学校の受験に関しては、子供の体が弱かったですし、幼稚園を卒園したばかりの子供がランドセルちょっとラッシュの電車に乗って通うのはとても見ていられないと主人も申しましたので、全然頭にありませんでした。

中学校からは、子供自身が「ママと同じ学校に通うの？」と自然に考えていて、違和感なく受験勉強していました。

C うちは中学校から私立に入った長女が小学校入学のときに、受験の準備をしていました。ただ、ちょうどマンションを買ったばかりのときだったので、経済的にも大変で、週一回のおけいこくらいで後は自分で娘の勉強を見ていました。いま、娘の行っているのは中・高統いている学校ですが、私は大学から、私の妹たちは中学校と幼稚園から行っていたんです。だから卒業生だという甘えがあって、学校の教育方針なんかも試験の前に覚えればいいやって感じで受けに行ったんです。

ところが校長先生の顔がこちらが期待していたように優しいものではなかったんですね。私がまずあがり、それにつられて主人もあがってしまって、二人ともろくに答えられなかつたんです。子供が一人で一生懸命答えていた姿を見て、主人も反省して、中学受験のときには協力しようと密かに思っていたようです。

子供が四年生で塾に通い始めた時期から、主人はそれまでテレビを見たりとかカラオケとかしていたのをすっかりやめて英会話の勉強に切り替え、夜の塾の送り迎えも毎週してくれました。教育方針についても今度はちゃんと了解して、父親の言葉で合格したのではないかと思うほどの協力をしてくれました。

司会 御両親の協力が欠かせないわけですね。今日はみなさんから貴重な御意見をいただき、本当にありがとうございました。